

交通事業

平成24年度下半期の事業概要

事業の概要

交通事業を取り巻く環境は、少子化等により長期的に乗客数が減少傾向にあることに加え、軽油価格が不安定な価格変動を示しているなど、引き続き厳しい経営環境となっております。

こうした中、平成20年度から24年度までを計画期間とする「中期経営計画」に基づき、県央地区子会社化や中古車両導入による車両更新費の抑制などの経営健全化策に取り組んできましたが、今期においては、「高速シャトルバス」の増便などにより乗合収入は増収となったものの、景気低迷などに伴い高速収入が減収となるなど、収益が当初の見込みより大幅に下回りました。

この結果、平成24年度の決算においては、総収入52億2,050万円に対し、総費用53億523万円となり、8,473万円の純損失を計上することとなる見込みです（金額は消費税及び地方消費税抜き）。

業務状況

(ア) 車両

今期末の在籍車両は、412両です。

(イ) 輸送

a 免許キロ

今期末の総免許キロは2,012.59kmで、前年度同期と比較して1.1kmの減となりました。

b 走行キロ

今期の総走行キロは978万2,993km(乗合808万5,673km、貸切169万7,320km)で、前年度同期と比較して1.9%の増となり、実働1日1車当たり総走行キロは178kmとなりました。

c 輸送人員

今期の輸送人員は781万6,482人(乗合756万7,117人、貸切24万9,365人)で、前年度同期と比較して0.9%の減で、実働1日1車当たりの人員は143人となりました。

経理の状況

経理の状況は、およそ次の表のとおりになる見込みです。なお、予算と対比して、その執行状況を明らかにするため、本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

また、本表における収益的収入から支出を差し引いた収支見込額と純利益見込額との差については、資本的収支における消費税及び地方消費税の精算分が収益的収支に含まれることなどによるものです。

平成 24 年度 予算 執行 状況

(1) 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
事業収益	5,443,305	5,443,311
営業収益	4,693,419	4,693,422
営業外収益	723,852	723,853
特別利益	26,034	26,036

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(支出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
事業費用	5,503,174	5,503,115
営業費用	5,277,479	5,277,422
営業外費用	217,909	217,907
特別損失	7,786	7,786

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(2) 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
資本的収入	520,622	484,623
企業債	501,000	465,000
建設補助金	950	950
固定資産売却代金	18,331	18,331
投資返還金	341	342

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(支出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
資本的支出	1,162,191	1,125,649
建設改良費	513,761	477,220
企業債償還金	468,739	468,739
他会計借入金償還金	24,600	24,600
退職給与金	153,597	153,597
投資	1,494	1,493

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。なお、退職給与金については、毎年度の収益的収支への影響の平準化等を図るため、各年度において見込まれる平均的な退職者数については収益的支出で支出し、これを超える退職者がある場合は資本的支出で支出し繰延処理を行うこととしています。